

報道関係者各位
プレスリリース

2025年1月30日
株式会社ベストインクラスプロデューサーズ

BASSDRUM×Almondo×BICP 共同セミナー

“AI is eating everything?”

CES2025 から見る、AI がもたらす大きな潮流の中と外

開催日時：2025年2月13日（木）18:00~19:30

株式会社ベストインクラスプロデューサーズ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：菅 恭一、以下 BICP）は、ベースドラム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：鍛冶屋敷 圭昭、以下 BASSDRUM）、株式会社 Almondo（本社：東京都文京区、代表取締役 CEO：伊藤 滉太、以下、Almondo）との共同セミナー「AI is eating everything? CES2025 から見る、AI がもたらす大きな潮流の中と外」を2月13日（木）18:00~19:30 に開催します。



BASSDRUM

AIMONDO

B I C P

今回は、2025年1月7日~10日までラスベガスで開催された世界最大のテックイベントである CES2025（以下、CES）の視察レポートをお届けします。NVIDIA CEO ジェン・スン・ファン氏の基調講演で幕を開けた今年の CES は昨年引き続き“AI”をテーマにしたセッションやブースが多数見受けられました。かつてのモノづくり大国日本は、自動車や生活家電など様々な Hardware を世界に生み出してきました。2011年に世界で初めて一般に普及した Web ブラウザ「Netscape」の開発者であるマーク・アンドリーセン氏がウォール・ストリート・ジャーナルに寄稿した「Software is eating the world」というコラムが話題になりましたが、今やビジネス競争力の源泉はハードウェアからソフトウェアへ、そしてこれからは AI に移り変わろうとしている足音を感じるカンファレンスでした。

そのような CES の 이슈を抑えながら、日進月歩で進化を遂げている課題解決型のイノベーションにも目を向けて、マーケティング×テクノロジー×AI の専門家それぞれの知見を交えながら多角的なセッションをお届けします。

今回のセミナーで取り上げるテーマ：

1. AI によってもたらされる競争力とは
2. 課題解決型イノベーションの最前線
3. 日本企業が取り組むべきトランスフォーメーションの方向性

新しいビジネスやブランド変革を考えられている方、既存の事業を成長させていきたい方など「挑戦するマーケター」の皆さまにご参加いただければ幸いです。ぜひ下記 URL からお申し込みください。

〈ウェビナー概要〉

場所 : オンライン配信 (Zoom) でのウェビナー形式
 時間 : 2月13日 (木) 18:00~19:30
 プログラム : 18:00~18:10. オープニング
 18:10~19:30 BASSDRUM×Almondo×BICP によるセッション
 19:30~20:00 質疑応答 (参加自由)

参加費 : 無料

申し込み URL : (URL) <https://www.bicp.jp/seminar/entry-ces2025>

※フォームへの入力後、Zoomへの登録をおこなっていただく必要があります。

※過去参加されたことがない方もご参加いただけます。

当日のスピーカーについて



■公文 悠人 (くもん ゆうと)

BASSDRUM / Tech Director

1984年福岡生まれ。慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科修了後、2011年より博報堂アイスタジオに在籍し、3年程サーバーサイドのエンジニアとしてコーポレート/キャンペーン/コミュニティーサイト構築を経験。2014年からは、R&D 部署にてハードウェアエンジニアとして、様々なプロダクト開発や屋外インスタレーションの制作に携わる。IPA 未踏 IT 人材発掘・育成事業スーパークリエイター (2009年)。2018年9月より、BASSDRUM に参画。

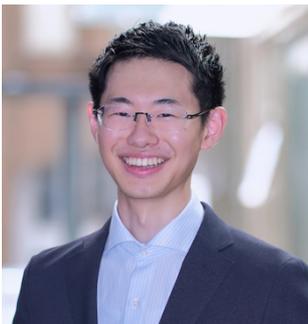


■土屋 泰洋 (つちや やすひろ)

Dentsu Lab Tokyo / BASSDRUM パートナー

Creative Director / Creative Technologist / Researcher

プロダクト・サービスの研究開発、コンサルティング、ウェブ・アプリ制作、空間設計、イベント・ライブ演出など様々な領域の業務に従事。テクノロジーへの深い理解に根ざしたテクノロジストならではの企画と、クラフトにこだわった細やかなディレクションを得意とする。主な仕事に、数年先のビジネスやものづくりのビジョン形成をサポートするマガジン「THE TECHNOLOGY REPORT」責任編集、UI サウンド・アセット「SND.DEV」クリエイティブディレクションおよびサウンドデザインなど。



■伊藤 滉太 (いとう こうた)

株式会社 Almondo / 代表取締役 CEO

東京大学松尾研究室主催の AI 講座「GCI」にて、最年少で優秀賞受賞。

松尾研究室発スタートアップにて営業として、AI SaaS の事業開発、株式会社松尾研究所にて企業提案と AI 開発に従事。

株式会社 Almondo を創業し、数十社以上の企業の AI 活用を支援。

MARKETING-X やアドテック東京にて登壇するなど、発信を強化しながら、AI エージェントがビジネスを変える未来を作るために日々挑戦中。



■中村 元海（なかむら もとうみ） BICP / 執行役員 マネージャー
 2006年大手インターネット専業広告代理店入社。新卒で新規事業部「EC推進部」に配属され、サイト構築～集客・CRM・サイト解析までをトータルプロデュース。2011年10月大手総合広告代理店に入社し、その後2015年9月からBICPの立ち上げに参画。デジタル時代のマーケティングプロデューサーとして、ブランド/コミュニケーション戦略プランニング～実行マネジメント、新規事業/サービス開発、マーケティング部門のDX化などのプロジェクトをリードし、マーケティング活動のインハウス化を支援。

■株式会社ベストインクラスプロデューサーズ（BICP）について

BICPは“デジタル時代のマーケティング・プロデューサー集団”として2015年4月に創業しました。現在は、“マーケティングの力で、人生を楽しめる人を増やす”というビジョンを掲げ、東京、大阪、住田、ニューヨークの各拠点が連携しながら、クライアント社内における、①マーケティング戦略プランニング、②チームビルディング、③プロジェクトマネジメントの支援をおこなっています。2018年10月には、データ活用支援を強化する目的で株式会社ビーアイシーピー・データを分社化しました。プライバシー規制時代のデータ活用戦略策定を、企業理念や顧客ベネフィットの視点で再構築するアプローチをとりながら支援をおこなっています。また、2023年7月には地域や中小企業への支援に注力するために住田オフィスを分社化させ、株式会社ビーアイシーピー・ハナレを設立しました。グループ各社の資源を組み合わせ、マーケティング思考による市場創造と最新のデジタル潮流を踏まえたプロセス自体の変革、双方の視点を持ってクライアント企業を支援しています。

■ベースドラム株式会社について

クリエイティブ・テクノロジーの領域において数々の実績と受賞歴を持つ清水幹太氏が2018年に共同設立したBASSDRUMは、国内屈指のテクニカルディレクターが集まる世界初のテクニカルディレクター・コレクティブであり、その中核にある会社組織です。あらゆる局面において最先端の技術知識を軸に、デザインやビジネスなどの領域横断的なコミュニケーションを補助しながら、業界をリードする革新的なプロジェクトを数多く手がけています。

【公式サイト】 <https://bassdrum.org/>

■株式会社 Almondo について

先進的なAI技術を強みとして、これまでDCM、東京ガス、IHI、伊藤忠テクノソリューションズ（CTC）など、多数の大手企業に対して、AIナレッジ基盤構築や特化型モデル開発、AIシステム構築を手掛けて参りました。特に、生成AI、AI Agentを用いた開発に強みがあり、主なユースケースとして、対話接客システムや、専門ナレッジ検索システム、画像・動画の解析システムなどを提供しております。

【公式サイト】 <https://almondotech.com/>

以上

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社ベストインクラスプロデューサーズ 西村・木村・下津（しもつ） E-mail: seminar@bicp.jp